

## 練馬区地域防災計画令和 2 年度修正の概要

練馬区では、大規模な災害が発生し、新たな課題が顕在化した際や、防災に関する国や都の施策が進展した場合など、必要に応じて地域防災計画の見直しについて検討を行い、修正してきました。

直近では、平成28年に発生した熊本地震の教訓や国の防災基本計画の修正等を踏まえ、平成30年3月に修正を行っています（平成29年度修正）。

その後、平成30年に、大阪府北部地震、平成30年7月豪雨、台風第21号および北海道胆振東部地震など、各地で大規模な災害が相次いで発生し、多くの課題が顕在化しました。

また、令和元年9月には台風第15号（令和元年房総半島台風）が、同年10月には台風第19号（令和元年東日本台風）が首都圏を襲い、甚大な被害をもたらしました。さらに、令和2年の新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえ、避難所における避難者の過密抑制など、感染症対策の観点を取り入れた防災対策についても検討する必要があります。

区では、前回の修正以降に発生した大規模災害などの課題や国の3回にわたる防災基本計画の修正、東京都地域防災計画震災編（令和元年修正）の修正内容を踏まえ、練馬区地域防災計画を修正しました。

主な修正の視点は、以下のとおりです。

### 1 災害対策再点検の検討結果を踏まえた修正

平成30年は、大阪府北部地震、平成30年7月豪雨、台風第21号および北海道胆振東部地震といった大規模な災害が相次いで発生し、多くの課題が顕在化しました。区では、これらの災害を踏まえ、「応急、緊急的な対応への即時着手」に加えて、「天災に先手を打つ、地域ごとの災害リスクに応じた対策の実施」という観点から、全庁を挙げて区の災害対策再点検を実施し、課題の検討を行いました。

また、令和元年には、台風第15号（令和元年房総半島台風）、第19号（令和元年東日本台風）および第21号に伴う大雨で新たな課題も浮き彫りになり、それまで進めていた災害対策再点検に加えて検討することとしました。

災害対策再点検の検討結果については、修正内容に反映しています。

### 2 新型コロナウイルス感染症対策の検討結果を踏まえた修正

令和2年の新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえ、避難所における避難者の過密抑制や感染症対策用の区の備蓄の充実など、感染症対策の観点を取り入れた防災対策について検討し、修正内容に反映しました。

### 3 国および都の施策の進展を踏まえた修正

#### 防災基本計画（中央防災会議）の修正内容

前回の練馬区地域防災計画の修正以降、国の中央防災会議は3回にわたり防災基本計画を修正しています。

#### 東京都地域防災計画震災編（令和元年修正）の主な修正の視点

東京都では、全国各地で発生した大地震の教訓等の具体化をはじめ、女性視点の防災対策の推進、増加する訪都外国人への対応、防災まちづくりやICT等最新技術の進展など、震災対策を取り巻く最新の動向を踏まえた取り組みを反映し、震災対策の実効性をより一層向上させるため、令和元年7月に東京都地域防災計画震災編を修正しました。

- ・主な修正事項は、資料2のとおりです。
- ・資料1～3をご確認いただき、資料4「令和2年度練馬区防災会議(第1回)ご意見シート」をご記入ください。